

岩手日報媒体資料

2026年版

Digest

広告媒体・メディアパートナーとしての
「岩手日報」をもっと知ってもらうために



岩手日報創刊 150周年

岩手日報は今年7月21日、創刊150周年を迎えます。
 長年にわたるご愛顧に、あらためて心からの感謝を申し上げます。
 150周年に当たり、私たちの役目と可能性を見つめ直しました。
 そして岩手の皆様への約束として、MVV(ミッション・ビジョン・バリュー)
 を策定。今年1月1日に発表しました。



Mission

今日も、岩手を元気にする

Vision

岩手につくす集団

Value

- [心] 岩手愛
- [技] 身をもって確かめた真実
- [体] 駆けつける足
- 取りこぼさない目
- 手と手をつなぐ手



今日も、岩手を元気にする。

私たちは、現地を訪ねて人に会う。
 そこにある景色に目を凝らし、声なき声にも耳を澄まし、
 伝えるべき真実を、誰かがわかるかたちで届ける。
 この地に根ざす報道機関として、この地に生きる者として、
 岩手のためにできることを考えつづけて実行していく。
 岩手の人々を、そこにある営みを、
 私たちの愛する岩手を、今日より元気にするために。

150th IWATE NIPPO

おかげさまで岩手日報は、創刊150周年を迎えることができました。もとより岩手
 への奉仕を目的に発足した私たちですが、この先はより一層、岩手につくす集団
 として活動したい。ジャーナリズムの精神を、岩手のためならなんでもやる覚悟
 です。編集や印刷の現場をこらえて守りつづけていくことを、これからの
 日々にもめぐる岩手の日々を盛り上げていくことを、自らの責務にお約束します。
 —2026年1月1日 岩手日報社

INDEX

03 岩手日報本紙の媒体力

発行部数／新聞の特長／新聞広告の特長

04 岩手日報本紙の広告

記事下広告／臨時もの広告(決算、謹告など)／お悔やみ広告／求人広告

08 ホームページ・SNS

11 岩手日報広華会・岩手ランチ懇話会

12 主催事業

16 サービス

18 歩み・受賞実績

19 岩手日報グループ

[発行部数]

岩手県内で1番読まれている新聞

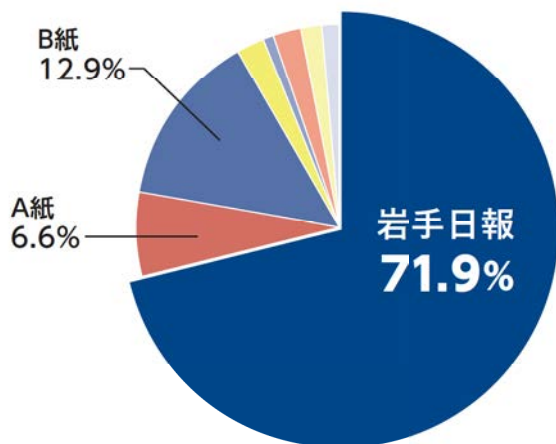
154,419部

(2026年2月現在)

岩手日報社は1876(明治9)年に創刊された岩手県の新聞社です。盛岡市内丸の本社、県内13支社局と東京、大阪、仙台をつなぐ取材網と、共同通信を通じて配信される国内外の幅広い情報をもとに本紙を発行しています。

岩手県の市場占有率は

71.9%



購読世帯で2.5人以上に読まれている

新聞を購読している人に、家庭内で何人が読んでいるかを尋ねたところ、朝刊は平均2.5人でした。新聞は各世帯で複数の人に読まれており、家族みんなが触れるメディアとして親しまれています。

「部数×2.5」の訴求力が期待できます

岩手日報購読約15.4万部×2.5 = **約39万人に届く**

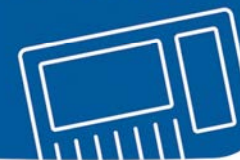
※日本新聞協会広告委員会「2015年全国メディア接触・評価調査」

岩手日報デジタル版

岩手日報の購読者に、**無料**でお届けしています

- point 1 **毎朝4時に紙面データが届く。**
大雨や大雪などの悪天候でも**定時に紙面が届く。**
- point 2 お悔やみ広告、慶弔情報、イベント情報などの**生活情報が前日に届く。**
- point 3 画面を読みやすいサイズに**拡大縮小できる。**
- point 4 過去記事が**30日分保存できる。**
まとめ読みも可能。

岩手日報 デジタル版



【お悔やみ広告（死亡通知広告）】

訃報は故人やご遺族にご縁のあった方々にとって大事なお知らせです。「一般葬」「家族葬」「社葬」「お別れの会」など、故人の人生で出会った人、支えられた多くの人に、岩手日報紙面を通じて感謝の気持ちを伝えられます。

臨時もの
B

一般葬

父 雲石太郎(八十二歳) 病氣療養中のところ、五月十二日午後九時二十分永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでお知らせ申し上げます。

〓火葬 五月十四日午後二時三十分
〓葬儀 盛岡市山形寺山 盛岡市斎場すずきの丘
〓火葬 五月十五日午後十一時
〓葬儀 盛岡市内丸 白菊メモリアル会館(備前祭) 令和六年五月十三日 盛岡市吉野町一三ノ五

盛岡市商店 喪主 親 雲石清一
親 雲石清一
同子 同子

掲載料金(税別)
6cm×2段 / 252,000円

社葬

弊社代表取締役 北上大吾郎(七十三歳) 五月二十日午後九時五十七分永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでお知らせ申し上げます。

〓火葬 五月二十二日午後二時
〓葬儀 五月二十七日午前十一時
〓火葬 五月二十七日午前十一時
〓葬儀 五月二十七日午前十一時

岩手県石町三田町三田五五五
株式会社 北上商店
代表取締役 安比重三
専務取締役 友成代 北雄一郎
友成代 北雄一郎
友成代 普代 幸太郎
友成代 普代 幸太郎

掲載料金(税別)
7.5cm×2段 / 315,000円

関連

全国灯油業協同組合連合会理事 盛岡一郎 儀
岩手県灯油業協同組合理事 盛岡一郎 儀
かねて病氣療養中のところ、五月九日午前六時二十五分永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでお知らせ申し上げます。

盛岡市東二丁目一六
全国灯油業協同組合連合会
全国灯油業協同組合東北支部
岩手県灯油業協同組合

掲載料金(税別)
5.5cm×2段 / 231,000円

家族葬

父 江刺次郎(八十歳) 病氣療養中のところ、五月十二日午後九時二十分永眠いたしました。ここに生前のご厚誼を深謝し謹んでお知らせ申し上げます。

〓火葬 五月十四日午後二時三十分
〓葬儀 盛岡市山形寺山 盛岡市斎場すずきの丘
〓火葬 五月十五日午後十一時
〓葬儀 盛岡市内丸 白菊メモリアル会館(備前祭) 令和六年五月十三日 盛岡市吉野町一三ノ五

盛岡市商店 喪主 親 江刺清一
親 江刺清一
同子 同子

掲載料金(税別)
5.0cm×2段 / 210,000円

お別れの会

「故北上博之お別れの会」のご案内
去る五月二十一日に永眠いたしました北谷建設株式会社前代表取締役会長 故北上博之(旭日双光章八十一歳)の「お別れの会」を左記の通り執り行いますのでご案内申し上げます。

〓日 六月二十六日(水)
〓時 午前十一時三十分から午後一時三十分
〓会場 ホルメトロシティ(盛岡市ニウライン) 盛岡市盛岡駅前北道二二七
〓家族の都合により時間や会場が変更になる場合がございます。お申し込みください。

令和六年六月三日

実行委員長 金石和政
盛岡市山形寺山 自三ノ三三
代表取締役 北谷博昭
北谷建設株式会社
喪主 北谷上昭子

掲載料金(税別)
9cm×2段 / 378,000円

会葬御礼

ご会葬御礼
故釜石龍市(葬儀の最中におかけいただきありがとうございました) 下丸 かつら(ご遺族)が御葬儀に参り、誠にありがとうございました。早急にお礼申し上げます。

盛岡市山形寺山 自三ノ三三
令和六年五月十四日

北上市大道三丁目一六
喪主 金石和政
親 親 一定
同 同 雄

掲載料金(税別)
4.5cm×2段 / 189,000円

※掲載見本はすべて縮小率60%です。 ※お悔やみ広告は臨時もの広告となり、臨時ものB料金が適用されます。 ※詳しい広告料金は、広告料金表でご確認ください。

[岩手日報ONLINE]

県内トップクラスのアクセス数

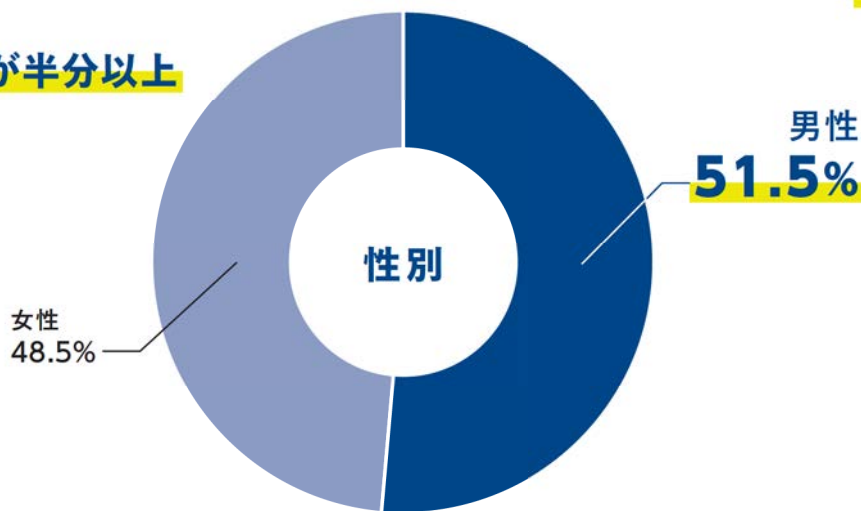
岩手日報のニュースサイト「岩手日報ONLINE」は※約456万PV／月。県内トップクラスのアクセス数を誇るサイトです。また岩手県外からのアクセスも多く、県内だけではなく、全国へと情報を届けることができます。大谷翔平や菊池雄星のMLB試合速報、選挙速報や地域のニュースなど独自のコンテンツを配信しています。

※2025年4月～2026年3月平均、自社調べ

30日間のアクティブユーザー数 1,020,000の内訳

※2026年3月1日～3月30日

男性が半分以上



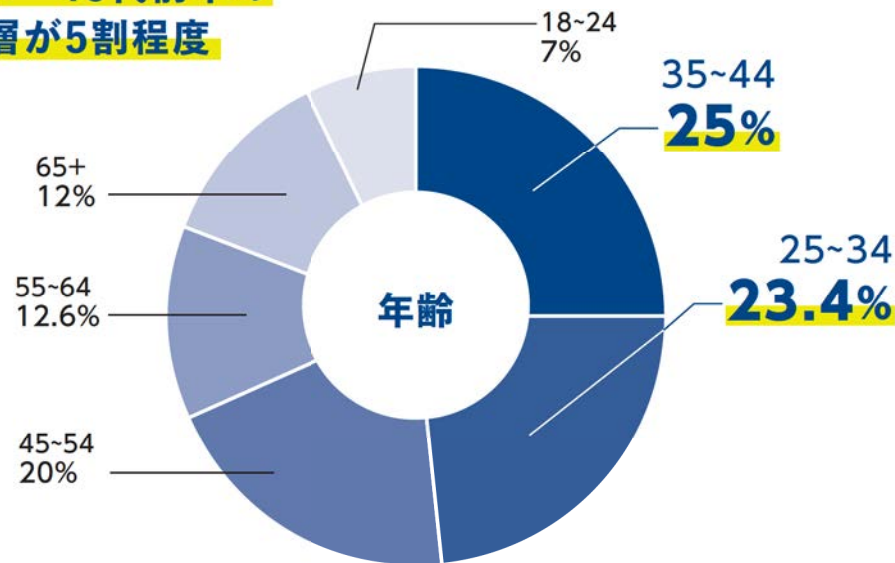
岩手日報ONLINE基本データ



アクセス数／
約4,560,000PV／月

年齢別層／
25～44歳 約48%

20代後半～40代前半の 年齢層が5割程度



岩手日報ONLINE 広告

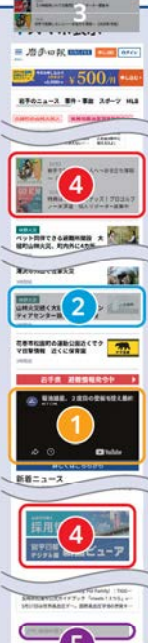
岩手日報のホームページは約456万PV/月(※)。県内トップクラスのアクセス数を誇るサイトです。
岩手県外からのアクセスも多く、全国へと情報を届けることが可能です。
※2025年4月～2026年3月平均、自社調べ

TOPページ (広告掲載イメージ)

▼パソコン表示



▼スマホ表示



カテゴリーページ (広告掲載イメージ)

▼パソコン表示



▼スマホ表示



記事ページ (広告掲載イメージ)

▼パソコン表示



▼スマホ表示



1 WEB動画広告

視覚と聴覚を刺激する動画広告で、ユーザーの共感を深く記憶に刻むことができます。文字では伝わらない熱量をお届けします。

掲載ページ	TOP、カテゴリー、記事
掲載料	定価150,000円/2週間(税別)
素材の提供	<ul style="list-style-type: none"> ●動画素材はMP4、フルHD(15秒～30秒推奨) ●2～3種類のCMをランダムに掲載することも可能。 ●リンク先のURL(動画と動画下にクリックできる領域を用意) ①動画のみ ②動画+動画領域にリンク ③動画+動画領域にリンク、テキスト&リンク

※継続的に掲載する場合は、毎月素材を変更することができます
※提出10日前に提出してください
※提出期限終了後に、動画の閲覧数およびクリック数を報告します

2 デジタル記事体広告 (広告クレジットあり)

広告枠+記事体広告のパッケージ商品です。広告枠が記事ブロック内に記事と同じスタイルで表示されます。

掲載ページ	TOP、カテゴリー
掲載料/1枠	120,000円/2週間(税別)
記事体広告制作費	30,000円(税別)～
広告枠	サムネイル画像入稿サイズ横1200ピクセル×縦675ピクセル 【ファイル形式: JPEG、PNG】
記事体広告	見出しテキスト字数 全角30字以内

※記事体広告を自社サイトへのリンクに置き換えることもできます
※取材・撮影・編集を岩手日報社が担う場合は別途料金がかかります
※掲載は最大2枠

3 インフィード広告 (広告クレジットあり)

広告枠+記事体広告のパッケージ商品です。広告枠が広告ブロック内に表示されます。また、外部から直接のアクセスが多い記事ページにも表示されます。

掲載ページ	TOP、カテゴリー、記事
掲載料/1枠	120,000円/2週間(税別)
記事体広告制作費	30,000円(税別)～
広告枠	サムネイル画像入稿サイズ横400ピクセル×縦400ピクセル 【ファイル形式: JPEG、PNG】
記事体広告	見出しテキスト字数 全角34字以内

※記事体広告を自社サイトへのリンクに置き換えることもできます
※取材・撮影・編集を岩手日報社が担う場合は別途料金がかかります
※掲載は最大3枠

4 バナー広告

掲載ページ	TOP、カテゴリー、記事
掲載料	60,000円/月(税別)
制作費	10,000円(税別)～
入稿サイズ	横640ピクセル×縦200ピクセル (ファイル形式: JPEG、PNG)

5 テキスト広告

掲載ページ	TOP
掲載料	40,000円/月(税別)
字数	全角18文字以内

[SNS]



岩手日報ONLINEアカウント

Web(岩手日報ONLINE)に掲載されたニュースやスポーツ・選挙の速報、岩手県に関連する話題などを伝えます。

X 79,045フォロワー
facebook 15,488フォロワー
Instagram 6,880フォロワー



岩手日報の本 (コンテンツ事業部アカウント)

岩手日報社が出版する書籍情報などを発信します。

X 2,731フォロワー



LINE DIGEST Spot for アカウントメディア

岩手日報社では、LINEアカウントメディアを通じて、平日の月～金曜日(祝日・年末年始など一部期間を除く)にニュースを配信しています。

配信される8枠のうち、1枠を広告枠として提供。プッシュ型の強みを最大限に活かした記事体広告への誘導は、イベントの集客やWebサイトへのアクセス向上に最適です。

※詳細、広告料金はお問い合わせください。

「友だち」登録
223,819ユーザー



岩手日報buzz(総合ビジネス局アカウント)

2024年5月下旬にリニューアル。岩手日報社の広告企画、主催事業などの情報を発信します。タイアップによる展開も可能です。

X 48,182フォロワー
facebook 9,648フォロワー
Instagram 2,265フォロワー

プレゼントキャンペーン実績
鳥喜様「元祖ジャンボ焼き鳥」
応募数 9,619件

SNSタイアップマガジン



広告主タイアップによる買い切りSNSマガジンを配信できます。テーマや内容など、ご要望に合わせて取材・編集します。新聞広告と連動した展開も可能です。

SNSタイアッププレゼントキャンペーン



広告主タイアップによる「フォロー&いいね」プレゼントキャンペーンを実施できます。フォロワー数が多い岩手日報buzzアカウントを活用して、ご提供商品のPRへつなげます。

※詳細、タイアップ料金はお問い合わせください。



YouTubeチャンネルを開設しています チャンネル登録者 3,730ユーザー

動画配信、フォーラムやスポーツイベント等のライブ配信を行っています。動画と新聞広告、WEB、SNSの連動によるプロモーションにも実績があります。

YouTube



震災10年「黙祷」
宮古・田老の防潮堤から、YouTubeライブと渋谷・宮下パーク、渋谷スクランブル交差点大型ビジョンへ配信



「備える新聞」
新聞で作る折り紙トイレの作り方

※詳細、配信料金はお問い合わせください。

※フォロワー、ユーザー数等はいずれも2026年4月現在。

【岩手日報広華会】

岩手日報社の広告主である県内企業・事業所・商店等で作る団体です。1954年に結成した盛岡を皮切りに、県内各地で組織され、2019年結成の八幡平まで現在14広華会、501会員で構成されています(2026年4月現在)。事務局は岩手日報社本社・県内支社局に置いています。広告宣伝や経営の研究、各種事業を通じて会員相互の親睦を図り、地域社会の文化向上と県勢の発展に寄与することを目的としています。

各単会ごとに日報リーダーズサークル(コンサート、落語会、講演会等)を開催しているほか、全県組織である岩手日報広華会連合会は各種セミナー、広告講演会、親睦ゴルフ大会など幅広い活動を展開しています。

【県内広華会一覧】14広華会501会員 ※()内は2026年4月現在の会員数

盛岡広華会(125会員) 花巻広華会(50会員) 宮古広華会(22会員) 北上広華会(30会員) 紫波広華会(28会員) 水沢広華会(24会員) 久慈広華会(43会員) 釜石広華会(26会員) 一関広華会(27会員) 遠野広華会(25会員) 二戸広華会(37会員) 気仙広華会(23会員) 江刺広華会(18会員) 八幡平広華会(23会員)

コンサート・講演会



日報リーダーズサークル遠野例会の様子。海上自衛隊音楽隊がさまざまなジャンルの曲を披露=2025年9月13日、遠野市民ホール



日報リーダーズサークル盛岡例会の様子。歌手・森口博子さんのコンサートを開催。=2025年11月20日、トーサイクラシックホール岩手

広告事例



2026年1月3日付
岩手日報気仙広華会



2024年6月6日付
みちのく潮風トレイル
タプロイド
岩手日報久慈広華会・
宮古広華会・釜石広華会・
気仙広華会

【岩手ランチ懇話会】

本社が岩手県外にある企業、団体の支社、支店、営業所、現地法人などの代表者で組織。

岩手の情報を素早くキャッチして発信し、地域の発展に寄与することを目的に1982年に設立されました。

2026年4月現在、37会員で活動し、各界から招く講師による定例会で、岩手の文化・経済等を学ぶほか、異業種交流の場として会員相互の情報交換や親睦を深めています。



東北楽天ゴールデンイーグルスの銀次アンバサダーによる
トークショー=2025年8月28日



岩手が誇るオリンピックから丁寧に指導を受けた
カーリング体験会=2025年12月9日

[スポーツ]

盛岡市内一周継走大会=4月

盛岡市みたけ・岩手県営運動公園陸上競技場を発着点とする3.3キロの周回コースで開催。
本県陸上シーズンの本格的な幕開けを告げる一周継走は、中学・高校・一般各男女の計6部門で実施。男子は5周、女子は4週の総合タイムを競います。

雨にも負けず懸命に駆ける選手たち
=第78回大会(2025年)



3人制ハーフコートバスケットボール 「小学生3x3選手権」 =6~7月地区予選、9月県大会

競技の普及を目的に2014年から始まった同大会。県内を8ブロックに分け地区予選を開催。勝ち抜いた男女各48チームによる県大会を奥州市総合体育館で行い、県チャンピオンを決定します。出場者全員参加のフリースローコンテストなどお楽しみイベントも行います。

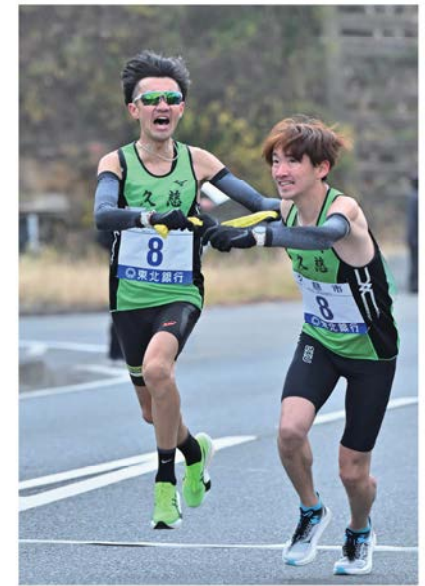
白熱した戦いを繰り広げる選手たち
=第12回大会県大会(2025年)



一関・盛岡間駅伝競走大会 (通称:日報駅伝)=11月

本県の陸上シーズンを締めくくる日報駅伝は、一般・高校の2部門。全国でも有数の歴史を誇る大会として知られ、国道4号を中心に北上するコースで行います。郡市町村・学校を代表する県内のトップランナーが沿道の応援を背に健脚を競います。

一般1区で首位に立ちたすきをつなぐ久慈市
=第84回大会(2025年)



Youtubeで
ライブ配信をしています

盛岡市内一周継走大会



一関・盛岡間駅伝競走大会



[教育]

小学生プログラミング ＝7～8月体験教室、12月コンテスト県大会

小学生対象のプログラミング体験教室・コンテストを開催します。プログラミング教育の浸透を図り、子どもたちが豊かな発想を養う機会を提供します。

体験教室

夏休み期間を中心に県内各地で開催します。プログラミングツールを使い、スタッフのサポートを受けながら初心者でも楽しく取り組みます。



体験教室の様子

コンテスト県大会

設定テーマに合ったプログラム作品、アイデアを募集します。身近な困りごとや社会の課題解決に役立つような、創造性あふれる作品・アイデアが毎年寄せられます。

12月に行われる最終審査の優勝者には全国大会の出場権が与えられます。

事業後援

後援を申請された事業について、名義後援をしています。「岩手日報社」後援名義の使用には事務手数料として1件あたり1,000円(税込)を頂戴しています。その他、注意事項もあります。詳しくは岩手日報ホームページでご確認いただくか、下記窓口までお問い合わせください。

遊・YOU塾inオキナワ・トカシキ ＝3月開催予定

1996年にスタートした県内の小中学生が対象の体験型教育旅行です。年間で最も過ごしやすい季節となる沖縄・渡嘉敷島を舞台に、マリンスポーツやクジラの観察、琉球文化・歴史の研修、現地の子どもたちとの交流などを通じて友情の輪を広げます。旅行には経験豊富な元教職員、看護師、大学生アドバイザーなどスタッフが同行し、子どもたちをサポートします。



マリンスポーツなど様々な体験ができる
遊・YOU塾

[ステージ]

日本フィルハーモニー交響楽団 東北の夢プロジェクト 楽しいオーケストラin岩手＝8月開催予定

東日本大震災以降300回以上にわたり東北で音楽による被災地支援を行ってきた日本フィル。その地道な交流活動が評価され、奉仕活動や人材育成に寄与した人物に贈られる「後藤新平賞」を2022年に団体として初めて受賞しました。本県でも夏の恒例となった本公演は、オーケストラによる演奏のほか、県内で文化活動に励む子どもたちも出演する夢のステージです。



会場一体となって音楽の楽しさを共有できる
楽しいオーケストラ

後援申請の流れ

step
1

岩手日報ホームページから後援申請書をダウンロードして必要事項を記入し、要項・チラシ案などを添付の上、メール・ファクス・郵便で事務局までお送りください。

step
2

申請受理後、許諾について審査し、結果についてお知らせします。内容によっては許諾しないこともあります。審査には2週間程度かかります。

step
3

許諾確定後、許可書と請求書・郵便振替用紙を郵送しますので、指定の期日までに事務手数料をお支払いください。

〔 展 覧 会 〕

「岩手の書道選抜百人展」「岩手日報公募書展」
「高校、中学校、小学校書展」=8月開催予定

選抜百人展は岩手日報書展会常任理事をはじめ、本県を代表する書家が味わい深い作品群で書の魅力を伝えます。

高校・中学校・小学校書展は、発表の機会を増やすことで書に親しみ、書写書道教育の振興に寄与することを目的としています。

「岩手の書家展・中堅作家展」「新春女性の書展」
「岩手の知名士色紙展」=1月開催予定

書家展・中堅作家展は漢字、かな、漢字かな交じり書など伝統美の中に創造性を追求した作品を展示します。

本県ゆかりの著名人が座右の銘や新年の抱負をしたための色紙展も人気です。



展示会場の様子

総合住宅展示場 日報ハウジングパーク

8社、10棟の住宅メーカーが集う常設の総合住宅展示場です。年間来場者数は約3千人。*
年間を通じて開催している「見学会」「相談会」などのほか、タイアップイベントも可能です。

*2023年度



お問い合わせ

〒020-0835 岩手県盛岡市津志田13-2

TEL:019-638-5561

営業時間:10:00~17:00 定休日:毎週水曜日

日報ハウジングパーク企画運営

岩手日報広告社

TEL:019-653-6125 FAX:019-622-2092



岩手日報総合研究所【日報総研】

「日報総研」は、「グローバルな視点」と「地域の知」を生かした提言活動を行っています。そのために毎月1回、タブロイド版情報紙を発行しています。

情報紙は激動する内外情勢に対し、多様なテーマを取り上げ、問題の本質を掘り下げる特集などを中心に展開。海外勤務や地域活動に精通した外部の特任研究員の寄稿のほか、岩手日報の広告主団体である岩手日報広華会とも連携した調査などで、「イワテカ」の構築につながるヒントや問題解決の道筋を探っています。



岩手情報文化研究会【情文研】

「情文研」は会員向けのセミナーです。政治、経済、社会、科学、トレンド、スポーツ、歴史など幅広いテーマで、年10回開く例会(講演会)にご案内するほか、情報誌「政経週報」「プレジデント」を定期的にお届けしています。入会は法人・個人を問わず、随時受け付けています。



事業承継・M&A支援サービス「地域共創プロジェクト」 M&Aキャピタルパートナーズ(株) 業務提携

新聞社が持つ情報網を生かし、地域経済の活性化を図るプロジェクトです。企業の合併や買収(M&A)の仲介を手がけるM&Aキャピタルパートナーズ(MACP)と業務提携し、後継者不足や事業成長などの課題に直面する県内企業の相談に応じます。岩手日報社がM&Aに関する情報発信や相談の窓口を担い、専門的ノウハウを持つMACP社スタッフが

円滑な成約につなげます。県内企業が事業を継続・発展させていくため、選択肢を広げる取り組みです。



高齢者の困りごとを解決するサービス「まごころサポート」 MIKAWAYA21(株) 業務提携

超高齢化社会の課題解決に向けた地域貢献ビジネスです。MIKAWAYA21(株)が提供するシニア向けサービス「まごころサポート」のメディアパートナーとして、ソーシャルフランチャイズ事業に取り組みたい岩手県内事業者のフランチャイズ契約を橋渡しします。電球交換や庭の掃除、買い物代行から不動産や相続相談まで多

岐にわたる、シニアの「ちょっと困った」や「これ叶えたい」にワンストップで対応し、「シニア世代が生き生きと暮らせる環境づくり」をサポートしています。



採用支援サービス「HRハッカー」 インビジョン(株) 業務提携

本当に出会いたい人材に情報を届ける採用活動支援サービスです。

インビジョン(株)が開発・提供している採用広報クラウド「HRハッカー」は忙しい人事担当者に代わり採用ページの更新をサポートし、採用広報の効率化を実現する求人システムです。作成した求人情報は「Indeed PLUS」をはじめとする8つの求人メディアと連携し約1億人に拡散されます。「HRハッカー」を中心としたサービスにより、企業の人材獲得をサポートします。



教育支援デジタルサービス +日報～確かな情報スクエア～

「+(プラス)日報」は文部科学省の「GIGAスクール構想」に合わせ、2023年度にスタートした教育支援サービスです。岩手のニュースを幅広く報じる岩手日報社ならではのコンテンツをデジタル教材として学校現場で活用していただき、学力向上や情報リテラシーの育成、郷土愛の醸成を後押しします。

※2026年4月現在、県内30市町村の小中学校190校と県立高校4校の計約1万9千人が活用しています。



【主な機能】記事検索、デジタル版の閲読・切り抜き保存、新聞づくりソフト「クミハン」、震災・復興学習用の記事一覧など

出版物



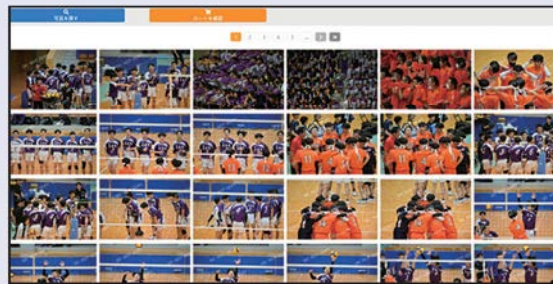
岩手日報社が発行する書籍を紹介、販売しています。大谷翔平選手をはじめ、岩手の先人&歴史、教養&ノンフィクション、文芸など、お気に入りのジャンルを見つけてぜひお求めください。



岩手日報 Webアルバム



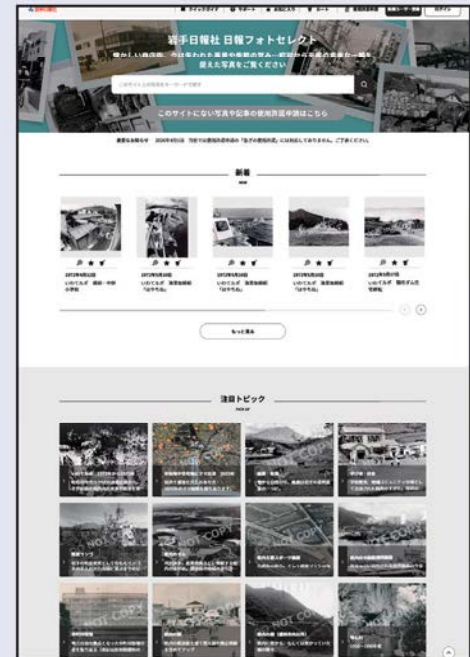
本社主催スポーツイベントを中心に、本紙記者らが撮影した紙面未掲載写真を公開。プリントのほかデータも販売しています。各種大会出場の記念や贈り物としてご好評いただいています。



日報フォトセレクト



昭和から平成に撮影された県内市町村の街並み、現在では見ることのできない貴重な風景などを公開。記念誌や書籍出版、テレビ放送向けに法人・企業を対象に提供しています。



【岩手日報の歩み】

岩手県初の新聞が発行されたのは、1876(明治9)年7月21日。盛岡市呉服町の日進社から「巖手新聞誌」として誕生しました。これが「岩手日報」のルーツです。

- 1897(明治30)年3月2日** 「巖手日報」の題号になる。
- 1938(昭和13)年6月29日** 現在の岩手日報社の前身「新岩手社」を設立。
- 1948(昭和23)年11月3日** 第1回岩手日報文化賞・体育賞を贈呈。
- 1961(昭和36)年3月31日** 岩手日報社と同居の旧県物産館から出火、社屋を全焼。全社員の努力で一日も休まず新聞発行が続けられた。
- 1962(昭和37)年10月15日** 現在地(盛岡市内丸3-7)に本社新社屋が完成。
- 1981(昭和56)年9月7日** 3ヶ年計画で進めてきた写植化が完成。コンピュータによる組版写植化は製作現場から鉛を追放。
- 2010(平成22)年7月1日** 夕刊を統合した新朝刊を発行。
- 2011(平成23)年3月11日** 東日本大震災・大津波(M9.0、盛岡市=震度5強)で全県のライフラインが寸断の中、東奥日報社の協力で特別紙面の朝刊を2日間発行し読者・県民に届ける。
- 2011(平成23)年4月7日** 東日本大震災の最大余震時(M7.1、盛岡市=震度5強)にも秋田魁新報社の協力で特別紙面の朝刊を翌日に発行。
- 2016(平成28)年4月15日** 矢巾町広宮沢に最新鋭輪転機2セットを備える新たな制作センターが完成。最大40ページ中24ページのカラー印刷が可能に。
- 2021(令和3)年11月10日** 第63次南極地域観測隊の越冬隊(同行者)に地方紙で初めて記者を派遣。観測の最前線や昭和基地での隊員の暮らしなどを発信する「南極支局」を開設(2023年3月まで)。
- 2026(令和8)年7月21日** 創刊150周年を迎える。

【主な受賞実績】

編集部門

- 日本新聞協会賞(編集部門)
企画部門/1990年、2011年、2016年 写真・映像部門/2011年
- 東北写真記者協会
新聞部門協会賞/2012年、2018年、2021年、2023年、2024年

広告部門

- カンヌライオンズ国際クリエイティビティ・フェスティバル
メディア部門金賞/2011年
- 広告電通賞
新聞広告電通賞/2017年
エリアアクティビティ最高賞/2021年
プリント広告最高賞/2023年、2024年
- 日本新聞協会
新聞広告賞/2007年、2011年、2012年(共同受賞)、2017年、2022年
新聞広告奨励賞/2019年、2020年、2023年、2024年、2025年
- 全日本広告連盟
鈴木三郎助地域キャンペーン大賞 選考委員会特別賞/2019年
鈴木三郎助地域キャンペーン大賞/2020年
鈴木三郎助全広連地域広告大賞 キャンペーン部門賞/2022年、2024年
- ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS
ブランデッド・コミュニケーション部門Cカテゴリー ゴールド賞/2021年
地域賞/2023年、2024年
- JAA広告賞
プリント広告部門グランプリ/2025年
フィルム広告部門グランプリ/2024年、2025年
新聞部門入賞/2017年、2018年、2019年、2023年、2024年
テレビ部門入賞/2018年、2022年、2023年、2024年
デジタル部門入賞/2019年、2023年、2024年
- ギャラクシー賞
CM部門入賞/2018年、2022年
- グッドデザイン賞
2011年(2作品)
- 岩手広告賞
知事賞(最高賞)/2013年、2019年

【岩手日報グループ】

本社、制作センター、県外3支社、
県内13支社局のネットワーク



株式会社 岩手日報社
創刊/設立 1876年7月創刊/1938年6月設立
代表取締役社長 川村 公司
資本金 1億円
従業員数 303名

本社
〒020-8622 盛岡市内丸3-7

制作センター
〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢4-350

東京支社
〒104-0061 東京都中央区銀座7丁目12-14 大栄会館
TEL:03-3541-4346

大阪支社
〒541-0041 大阪市中央区北浜3-1-12 萬成ビル
TEL:06-6231-4301

仙台支社
〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目10-33 第2日本オフィスビル3階
TEL:022-222-9672

一関支社
〒021-0884 一関市大手町3-40 岩手日報一関ビル4F
TEL:0191-23-4124

岩手支局
〒028-4307 岩手郡岩手町五日市12-81-10
TEL:0195-62-3249

花巻支局
〒025-0092 花巻市大通り2丁目1-17 大通り二丁目木村ビル2F
TEL:0198-24-7744

北上支局
〒024-0061 北上市大通り2丁目3-3
TEL:0197-63-4265

奥州支局
〒023-0814 奥州市水沢袋町4-3
TEL:0197-23-3751

大船渡支局
〒022-0002 大船渡市大船渡町字赤沢8-10
TEL:0192-27-3070

陸前高田支局
〒029-2205 陸前高田市高田町鳴石48-4
TEL:0192-55-2590

釜石支局
〒026-0034 釜石市中妻町2丁目11-7
TEL:0193-23-5107

遠野支局
〒028-0513 遠野市東穀町1-8
TEL:0198-62-3329

宮古支局
〒027-0061 宮古市西町1丁目5-38
TEL:0193-62-1771

久慈支局
〒028-0061 久慈市中央1丁目26
TEL:0194-53-3030

二戸支局
〒028-6101 二戸市福岡字八幡下18-8
TEL:0195-23-8080

八幡平支局
〒028-7405 八幡平市平館26-145-1D
TEL:0195-78-8100

共につくる、
未来のカタチ。



岩手日報社の100%出資子会社です。岩手日報などの新聞媒体、テレビ媒体、ラジオ媒体、インターネット媒体等への広告出稿、印刷物、イベント事業、住宅展示場「日報ハウジングパーク」運営などを手がける総合広告会社です。

届きます 暮らしの情報



岩手日報社の子会社です。岩手県全域への新聞折込広告(チラシ)の取り扱いをメインに、新聞、放送などの媒体広告代理業を行っています。

県内93の新聞販売ネットワーク 岩手日報販売センター

岩手日報の関連会社である「岩手日報こずかたセンター」を含む、岩手県内を網羅する93販売センターが、岩手日報を毎日、迅速、丁寧に読者のもとへ戸別配達しています。

